

(専門分野 I)

授業科目	看護過程	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.看護過程の概念と構成要素を理解する。 2.看護過程の展開方法を習得する。				時間数
					30
					学年
					1
					時期
					第2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	看護過程の概念と構成要素	1. 科学的思考プロセスとしての技術 2. 看護過程に必要な看護師の能力 3. 看護過程の構成要素 4. 看護過程と POS 方式による看護記録		講義	教員
2	アセスメント(情報収集・情報整理)	1. アセスメントとは 2. データ収集の方法 目的・系統的データ収集 データ収集の手段 3. データ収集の枠組み		講義	教員
3・4		4. ゴードンの機能的健康パターンとその内容 5. データの振り分けの実際		講義 演習	教員
5	アセスメント(情報の分析)	6. データ分析の方法 データ分析に必要な思考 解釈・分析・統合 7. アセスメントの種類 データベースアセスメント フォーカスアセスメント 迅速優先アセスメント		講義	教員
6・7		8. アセスメントの実際		演習	教員
8・9	看護問題の明確化	1. 全体像の把握と看護問題の明確化 情報の統合(5視点の整理) 看護問題の明確化 2. 看護問題の種類 実在型・リスク型・ヘルスプロモーション型 3. 共同問題 4. 看護問題と共同問題の違い 5. NANDA - I 看護診断		講義	教員

		看護診断を活用する意義 看護診断の基礎知識 6. カルペニート看護診断ハンドブックの活用方法		
10・11		7. 全体像の描写・統合アセスメント	演習	教員
12	看護計画	1. 計画とは 優先順位の決定 看護目標の設定 看護計画の立案	講義	教員
13		2. 看護計画立案	演習	教員
14	看護の実施及び評価	1. 実施とは 2. 評価とは 日々の評価 (SOAP) 評価日の評価の方法	講義	教員
15	評価	筆記試験 まとめ		
評価 方法	レポート 50点 筆記試験 50点	テキスト	系統看護学講座 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I 看護診断ハンドブック	